

G124		森林・人間関係学	
英名科目名	Forest Resources and Society		
大学名	京都大学		
連絡先	農学部学部教務掛 TEL:075-753-6436 FAX:075-753-6005		
担当教員	農学研究科 教授 神崎 護 農学研究科 助教 内藤 大輔		
開講期間	2021年10月05日(火)～2022年02月01日(火) 1講時 8時45分～10時15分(毎週火曜日) 休講2022/01/04(火)		
開講形態	後期・秋学期	開講曜日・講時	火曜日 1講時
単位数	2	履修年次	全回生
会場	吉田キャンパス		
授業定員			
単位互換生定員	20	京カレッジ生定員	
試験・評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回の授業では、出席チェック、小テストなどを実施する。授業中の質疑応答への積極的な参加も、成績評価の際に考慮する。 ・平常点(50点)、試験(50点)により評価する。 		
超過時の選考方法			
受講料			
別途負担費用			
その他特記事項	京都大学吉田キャンパス・北部構内・農学部総合館・W422室		
パッケージ科目			
低回生受講推奨科目			
講義概要・到達目標			
(授業の概要・目的) 本科目では森林資源を人類がどのように利用してきたのかを日本、ミャンマー、USAなどを例にして、生態史的な観点から講述する。次に生物多様性保全、森林消失、気候変動といった地球規模課題の中で、森林をめぐる国際的な取り決めやイニシアティブについて講述し、将来の森林資源の位置づけについて議論する。			
(到達目標) 世界の森林資源の開発や管理が歴史的にどのように行われてきたのかを理解し、持続的な森林資源管理の確立と、地球環境問題解決に貢献する森林資源の将来的なあり方について考察する力を養う。			
講義スケジュール			
下記の6つのテーマについて、それぞれ1週から3週の授業を行なう。 1～2 世界の森林の分布とその歴史的な変遷 3～5 森林資源利用の歴史と変遷 日本編 6～7 森林資源利用の歴史と変遷 アメリカ編 8～9 森林資源利用の歴史と変遷 ミャンマー編 10～12 持続的な森林管理への挑戦と課題：木材生産とマーケット 13～14 将来の森林資源の位置づけ			
試験終了後のフィードバック期間中に、試験結果の講評や受講者からの質問にEメールで対応する。			
教科書	授業中に資料を配布する		
参考書	授業中に紹介する		